

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/01/24号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 寒波と地政学リスクで2014年10月以来の高値更新

NY原油先物相場は、1バレル=85ドル前半まで値上がりする展開になった。前週に続いて北半球の寒波が暖房用エネルギー需要を強く刺激していることに加えて、ウクライナや中東情勢の緊迫化といった地政学リスクに対する警戒感を背景に、一時87.10ドルまで値上がりしている。2014年10月以来の高値を更新している。期近限月に対するプレミアム加算が強化され、逆サヤ傾向が更に強くなっている。

ウクライナではロシアの軍事侵攻のリスクが警戒されている。北大西洋条約機構 (NATO) の影響力が隣国ウクライナに広がりつつあることにロシアは強い警戒感を示しており、ウクライナとの国境付近の軍備を増強している。バイデン米大統領は侵攻が行われるとの予測も示しており、侵攻が行われた場合の対応についても協議が行われている状態が、原油相場に対してリスクプレミアムの加算を促している。一方、中東では武装組織「フーシ派」がUAEに対して攻撃を行い、サウジアラビアなど有志連合軍が報復攻撃を行っている。中東の地政学環境が不安定化していることも、原油相場を支援した。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (1月14日時点) は、原油が前週比52万バレル増、ガソリンが587万バレル増、石油精製品が143万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレーム) をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 寒波が緩むと調整リスクも、地政学リスクのサポート続くか

寒波と地政学リスクの二つのテーマを手掛りに急伸している相場であり、このテーマを維持して一段高を打診するのか、解消・緩和して調整安に移行するのかが焦点になる。短期的な過熱感は極めて強くなっており、寒波が緩む予報が伝わると利食い売りが膨らみ易くなる。一方で、供給環境の不安定化は早期解消が難しく、押し目買い優勢の展開は維持される見通し。80ドル台前半でのサポートは維持され、90ドルの節目に近づく場面もみられる可能性がある。

地政学リスクが原油市場の中心テーマになりつつある。ロシアがウクライナに侵攻した場合には、欧米諸国が対ロ制裁に踏み切るのは確実であり、主に欧州地区のエネルギー需給環境に大きな混乱が生じる可能性がある。ロシア産エネルギー供給の落ち込みに備えた代替供給の議論も活発化しているが、供給サイドに大きなリスクを抱えた状態が続くことになる。2月の冬季オリンピック開催中の軍事行動は想定しづらいが、1月21日の米口外相会談も平行線で終わっており、更に緊張感を高めるような動きがみられると、急伸する可能性がある。

また、「フーシ派」がUAEに対してミサイルとドローンによる攻撃を行ったが、追加攻撃を行う可能性が強く示唆されていることにも注意したい。

一方、国際エネルギー機関（IEA）は1～3月期が大幅な供給過剰になるとの見通しを維持した。寒波が終息に向かい、地政学リスクの暴走が見られない場合には、季節要因から徐々に需給緩和と圧力が強まる見通しが再評価される可能性がある。また、1月25～26日には米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催されるため、ドルや株価の動向にも注意したい。



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

